

岩手大学

岩手大学広報誌
IWATE UNIVERSITY

vol.46 AUGUST
2020.8

INDEX

- P1…地域の活性化・地域課題解決に取り組む学生を支援するためのプラットフォーム NEXT STEP工房
- P2…研究紹介 ●窒素源を獲得するための根粒共生メカニズム ～マメ科植物と根粒菌との分子間相互作用～ 農学部 植物生命科学科 助教 川原田 泰之
- P3…キャンパスライフ ●サークル紹介 ●GANDAI UPDATES ほか
- P4…センパイ紹介!! ほか ●センパイ紹介!! ●岩手県 商工労働観光部 定住推進・雇用労働室 鎌田 憲武さん
- 学長メッセージ～御礼～ 岩手大学長 小川 智 ほか
- 岩手大学イーハトーヴ基金へのご協力について ほか

地域の活性化・地域課題解決に 取り組む学生を支援するためのプラットフォーム

NEXT STEP工房

私たちが聞きました!

人文社会科学部4年
大崎 樹哉(左)
大友 葵(右)



もちよこい久慈プロジェクト

もちよこい久慈プロジェクトは、「もちよこい(くすぐったい)」のとおり、岩手県久慈市をおもしろくさせる活動を行っている。



Q どのような活動をしていますか?

A 岩手県久慈市のさらなる活性化を目指した活動を行っています。昨年は、市内の山根地区で開催される「くるま市・水車まつり」をはじめとしたイベントに参加して、区内のコミュニティ活性化を目指す試みや、毎年9月に開催される「久慈秋祭り」への参加を主な活動としています。その他にも、定期的に現地を訪問して、久慈市を盛り上げられるような試みを行っています。



Q 始めたきっかけは?

A 元々地域づくりに関心があって、1年生の時から地域に根差した活動にいくつか参加していました。私の地元久慈市をフィールドに活動したいという思いが強くなりましたが、機会に巡り合えずに悩んでいました。そんな折に、面識のあった久慈市役所の職員さんに出会い、「久慈市役所でも、地域のために活動する学生を応援したい。」というお話をいただきました。その方のサポートのもと、活動を始めたのがきっかけでした。

Q 今後の目標を教えてください

A 今年は新型コロナウイルスで久慈市のイベントの中止が相次いでいるので、その中でも、紙媒体や動画、SNSを使って、久慈市の魅力を発信していきたいです。現地での活動も状況を見て再開していきます。



撮影に協力してくれた方

もちよこい久慈プロジェクト 代表 高田 絵梨さん
農学部 食料生産環境学科3年/岩手県立久慈高等学校出身

自然史探偵団

自然史探偵団は、将来の研究のために亡くなった動物の標本を作製したり、自然の魅力を感じてもらえるような活動を行っている。



Q どのような活動をしていますか?

A 哺乳類・鳥類の骨格標本や毛皮標本を作製しています。“岩手県に存在した自然”として標本を残していくことは、今後の未来に役に立つものと考えています。加えて、年に数回博物館でのワークショップを実施しています。内容は小学生向けの簡単な工作教室が多く、少しでも身の回りの自然に興味を持ってくれば嬉しいという思いで活動しています。



Q 自然史探偵団の魅力を教えてください!

A 骨格標本の作製は、それほど難しくなく、皆で協力して行います。貴重な資料の蓄積を行いつつ、メンバーでの教え合いにより標本作製技術を習得することができます。骨格や毛皮の標本作製という非日常を味わえることも、自然史探偵団の魅力であると思っています。

Q 今後の目標を教えてください

A これまでは、タヌキなどの中型哺乳類を主に標本化してきましたが、今後は、鳥類や小型哺乳類など、どんな動物でも標本化できるようになることが目標です。また今よりも簡単に、そして早く標本化することができれば、より多くの動物を標本として残すことができます。標本作製方法を改善していくことも今後の目標です。



撮影に協力してくれた方

自然史探偵団 代表 柳沼 祐亮さん
農学部 共同獣医学科3年/福島県立安積高等学校出身

窒素源を獲得するための根粒共生メカニズム〜マメ科植物と根粒菌との分子間相互作用〜



農学部 植物生命科学科
助教 川原田 泰之

① 植物の生育に必要な窒素源

窒素(N)は、植物を構成するための必要な元素の一つです。植物は、この窒素源をアンモニウムイオン(NH₄⁺)や硝酸イオン(NO₃⁻)の窒素化合物の形態で土壌から吸収し、DNAやRNA、そしてアミノ酸の合成に使用しています。また、植物の光合成に欠かせないクロロフィルも窒素を使って合成しています。一方で、植物体内の窒素が不足すると葉は黄化し最終的に枯れてしまいます。このように植物の生育には窒素を欠かすことができません。このため私たちは、植物を育てる時に硫酸、硝酸や尿素などの窒素肥料を施肥して植物を健全に育てています。

空気中の約8割は、窒素分子(N₂)で占められています。無味無臭なため普段気にすることはありませんが、窒素は私たちの周りにたくさん存在しています。しかしながらこの窒素は、2つの窒素原子が3重結合(N≡N)して安定した構造を保つため、植物は空気中の窒素分子を利用することができません。植物が、この窒素分子を使うことができれば窒素肥料が要らなくなるのではないのでしょうか。

② マメ科植物と根粒菌との共生相互作用

畑で育てた大豆や、公園に生えているシロツメクサなどマメ科植物は身近な存在です。これらの植物の根を観察してみると、コブ状の組織を見つめることができます(図1)。これは「根粒」と呼ばれる組織で、マメ科植物に見られる特徴的な優良形質の一つです(その理由は次で示します)。根



図1 畑作土壌で生育させたササゲ(Cowpea)
写真提供者: 千葉悠平(総合科学研究科1年)

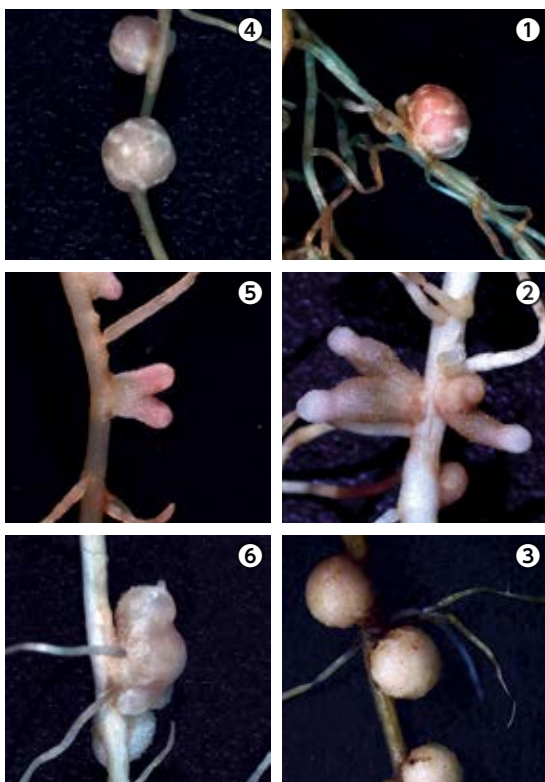


図2 様々なマメ科植物の根粒 ①ササゲ ②スイートピー
③ダイズ ④サイラトロ ⑤ヘアリーベッチ ⑥ルピナス
写真提供者: 千葉悠平(総合科学研究科1年)

粒は、マメ科植物の種類によって様々な形を示します(図2)。これらは、異常な形態にも見えませんが決して病気ではありません。

マメ科植物が根粒を形成するためには、土壌細菌の一種である根粒菌との相互作用が鍵となります。すなわち物質を介したマメ科植物と根粒菌との分子コミュニケーションです。この相互作用で用いられる物質は、マメ科植物が保有するフラボノイド類や、根粒菌が保有する低分子化合物のNod因子やEPS因子、そして、エフェクタータンパク質などが明らかとなつています。また、これらの相互作用物質の同定と並行して、相手側がこれらの物質を認識するための受容メカニズムの研究も進められています。このような物質を介したマメ科植物と根粒菌との相互作用は、根粒形成を誘導し、

根粒菌の根粒内部への侵入を促進します(図3)。

③ 窒素固定(根粒菌 VS 工業)

根粒内に侵入した根粒菌は、ニトロゲナーゼを使って空気中の窒素分子からアンモニウムイオン(アンモニア)を生産することができます。これは共生窒素固定と呼ばれ、このアンモニウムイオンは宿主植物に提供されます。一方で、宿主となるマメ科植物は、光合成産物を根粒菌に供給することで互いに有益な共生関係が成立します。このようにマメ科植物は、窒素化合物が不足した土地においても、根粒を形成させて根粒菌と共生することで空気中の窒素分子を使うことが可能となっています。一方で、工業的にも窒素分子を使ったア

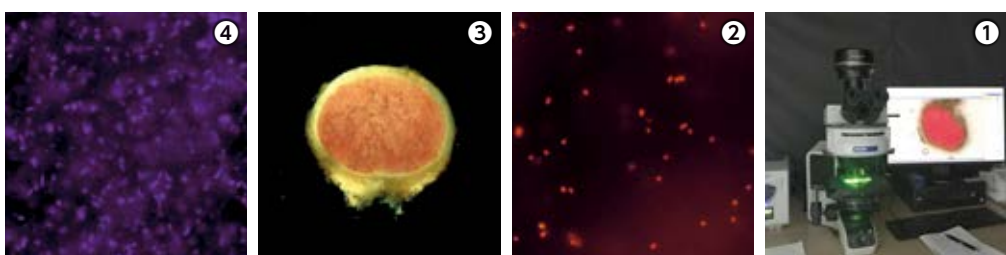


図3 根粒内部と根粒菌 ① 蛍光顕微鏡を用いた根粒内部の観察 ② 蛍光標識した根粒菌 ③ ダイズ根粒の断面 ④ ダイズ根粒内から分離した根粒菌のDAPI染色

④ 限定された宿主範囲

被子植物の一部に分類されるマメ科植物は、草本から木本まで幅広く19,500種ほどが同定されている一大群衆です。これら多くのマメ科植物は、根粒菌との共生相互作用によって根粒を形成することができます。②で述べたように、マメ科植物と根粒菌は、相互作用を通じて様々な物質の授受を行っています。これらの物質の授受は、根粒共生を進めていく一方で、双方間の「好み」を決定するメカニズムにも直結しています。これは、全てのマメ科植物と根粒菌との間でランダムに共生を成立させることができない仕組みで、共生を可能とする互いの範囲が限定された宿主特異性となっています。

⑤ マメ科植物以外の植物にも根粒形成を付与できたら

私たちは、マメ科植物特有の根粒共生の分子メカニズムの解明に取り組んでいます。なぜマメ科植物だけがこのような能力を獲得したのか、どのような物質の授受が相互作用に重要なのか? 宿主特異性はどのように決定されるのか? これらの分子メカニズムは、まだまだ解らないことがたくさんあります。また、マメ科植物と根粒菌との共生窒素固定は窒素肥料の軽減に繋がる優良形質であり、このメカニズムを明らかにすることは、農業現場の観点からも重要となっています。将来、マメ科植物以外の植物(作物)にも根粒形成を付与させて、窒素肥料の軽減や持続性農業の実現に繋げることが可能になることを夢見しています。

GANDAI UPDATES

岩手大学公式Facebookに掲載している学生取材記事より、反響の大きかった記事を紹介します！

f 最近の岩手大学キャンパス

こんにちは！現在も新型コロナウイルスの影響が続き、マスクを着用して生活している方も多いことかと思えます。ですが、梅雨に入り、盛岡の暑い夏が感じられる今日には中々に堪えます。人文社会科学部4年の大崎です！

今年で大学4年目に突入しましたが、新鮮な大学生活が続いています。今回は、新型コロナウイルスの影響を受けた岩手大学キャンパスの様子を発信していければと思います！

現在、少しずつ制限が緩和され、前期開始当初は自粛が求められていた部・サークル活動も解禁して、流行以前の活発さを取り戻しつつあるように感じられます。4月には、1年生の皆さんをサポートすべく、Zoom等のオンラインサービスを使って、履修相談や部・サークルの説明会を開催している岩手大学生が多く見受けられました。肝心の講義といえば、現在もほとんどが慣れないオンライン上で行われています。

こうして、大学に足を運ぶ機会がめっきり減ってしまったせいか、キャンパス内は平日でも閑散としています…。あんなにたくさんの学生でこた返して利用に苦労していた中央食堂も、今やみる影もありません。こんな岩手大学は初めてで、少し寂しく思います。近いうちにまた以前の岩手大学の景色が見られることを願います！

以上、岩手大学キャンパスの紹介でした！



i-Connect 通信欄

学内カンパニー『i-Connect』のメンバーが、いま伝えたいことを発信します。

新体制の2年目

こんにちは！i-Connectの大崎です！6月に学内カンパニーの認定式が行われ、今年度もi-Connectの活動が承認されました！そして、念願の新メンバーも加わり、良いスタートが切れそうです。

現在、新型コロナウイルスの流行によって、あらゆる方面に影響が出ていることかと思えます。私たちi-Connectも、屋外での活動は極力控え、Zoomを使用したオンライン上での活動を進めています。こうしたリモートワークに移行したての頃は不自由を感じたり、戸惑いもありました。ですが、移動する必要がないので、参加できるメンバーも増えたり、心なしか議論がより弾みようになった気がします。何か空間的機能が働いているのでしょうか。活動の制限が徐々に緩和されている現在ですが、今後もリモートワークを取り入れる機会が多くありそうです！

さて、新型コロナウイルスの対応に追われる毎日ですが、広報カンパニーである私たちi-Connectにできることは何か、メンバー全員で意見交換しながら日々、事業を計画中です。事業理念の1つである「学生と学生、学生と地域をつなぐ広報」をもとに、岩手大学内外で活躍する学生、地域を支える自治体や、飲食店をはじめとする企業の方々に、「広報」という形で少しでもお役に立てればと思います！

新メンバーも絶賛募集中です！以上、i-Connectからでした！

問い合わせメールアドレス
iconnect.gandai@gmail.com
i-Connect Twitter公式アカウント



サークル紹介 女子バスケットボール部

世界的にも大人気のスポーツであるバスケットボール。岩手大学にも、全国大会を目指して日々バスケットボールの練習に励んでいる学生がいます。

女子バスケット部はどんな部活？

加賀屋：部員は計11人で、主な活動時間は平日18時から2時間、休日9時から3時間です。主な大会は年に6回で、全国大会出場を目指し、支え合いながら日々練習に励んでいます。練習試合で学外に出向いたり、宿泊を伴う遠征・大会に行ったりします。また、バーベキューや登山、スキーなどのイベントも開催しています。

入部のきっかけは？

村上唯：高校時代に実現できなかった全国大会出場を諦め切れなかったのとバスケットボールが好きで気持ちから、大学でも続けたいと考えていました。少人数だからこそ内容の濃い練習ができ、試合に出られる機会も多く得られ、これまで以上に成長できると思い入部しました。先輩方のスキルやポテンシャルが高く、知識も経験も豊富な先生がいて、充実した環境だと感じました。

入部を通して成長したことは？

村上凛：メンタルが強くなったと思います。入部直後は想像以上の練習量、レベルの高さに圧倒されました。精神的に辛い時期もありましたが部活の仲間と相談して飲み会やパーティーの予定を立てることで、どんなに大変な練習でも乗り越えてきました。その経験が自分に自信を持たせ、強い精神を形成してくれたと感じます。



取材にご協力いただいた皆さん
教育学部4年 加賀屋綾乃さん(秋田北高等学校出身)
教育学部4年 村上 凛さん(大船渡高等学校出身)
教育学部4年 村上 唯さん(八戸学院光星高等学校出身)
人文社会科学部4年 高橋 美希さん
(盛岡白百合学園高等学校出身)

バスケットボール部に興味を持った方がいれば、しばらくやってみて、初心者マナーやルールに興味ある、どんな方でもお待ちしております！とのことです。部員同士のきずなが強く、練習は真剣に、イベントは楽しく過ごしても充実した部だと感じました。今後も大会に向けて頑張ってください！



写真の左から村上凛さん、高橋美希さん、加賀屋綾乃さん、村上唯さん

女子バスケットボール部の魅力は？
加賀屋：新型コロナウイルスの影響で2か月間全体での練習は全く行えず、個人練習のみで過ごしました。その期間もアプリでのお互いの日程管理や、SNSで活動の情報発信をしました。戸惑いもありましたが、それらを乗り越えられたのは仲間の存在があったからこそであり、このチームワークの良さが自分たちの強みです。

今後の目標は？

加賀屋：今年度の私たちの目標は1部復活です。昨年度2部に降格してしまい、悔しい結果となりました。その思いを胸に10月に予定されている入れ替え戦に臨みます。学業や進路と部活動と両立させて、よりよいシーズンになるよう努力します。

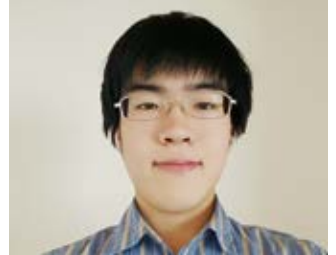
私たちが聞きました！

- 人文社会科学部4年 中村 太一(右)
- 農学部4年 米田 莉子(左)



サークル紹介 SF研究会

みなさんはSF作品をご覧になりますか？SFは小説や映画、アニメ、ゲームなど多くの作品で扱われる人気ジャンルです。題材は近未来や宇宙のように男心をくすぐるものばかり。今回はそんなSFを研究するサークルを紹介しましょう。



取材にご協力してくれた横地さん

SF研究会ってどんなサークル？

現在、約20名で活動しています。サークル棟3階の306共用室で活動しています。活動日は設定しておらず、会員が気が向いた日に活動場所に行き、何人か集まった日を活動日としています。

入部のきっかけは？

サークルオリエンテーションでSF研究会のブースの前を通りかかると、興味を持ちました。先輩方の優しい雰囲気や活動場所の秘密基地的な魅力に惹かれ、加入しました。

普段の活動の様子は？

活動の中心となるのは年2回、春と秋に行う会誌の制作です。会員が決めたテーマに沿って書いていくのですが、こじつけと言えぬものも多く、内容は毎回混沌としています。普段も(活動場所が同じ)ゲーム研究会さんとボードゲーム等をしていることも多く、とても自由です。

SFの魅力は？

個人的には、何でも取り込んでしまう懐の広さがSF作品の魅力だと思います。SFという言葉に厳密な定義はないらしく、どのような作品をSF作品と呼ぶことができるかについての議論は絶えないようです。逆に言えば

どんなものもうまく理由を付けられればSFと呼べるかもしれない、ということですね。様々な形態の作品を巻き込み、つなげられるのがSFの魅力です。

おすすめのSF作品は？

私のおすすめは手塚治虫の漫画「火の鳥」です。中学生時代に母の影響で黎明編、鳳凰編、復活編を読みました。様々な時代を描く壮大な世界観、何度でも蘇ることができる火の鳥と限られた時間を生き、死んでいく人間たちを対比しつつ描く生命の神秘といった要素に惹かれました。深く読み込んでいけばさらに面白く、単純に漫画として面白いので誰にでもお勧めできます。ただ残酷な描写があるため、苦手な人は注意が必要です。

先輩の皆さんへメッセージ

私たちはSF研究会ですが、実はサイエンス・フィクション研究会だとは一言も言っていないのです。過去には不思議な味のお菓子を持ち込んでこれはストレンジ・フード(SF)だから問題ない、と言いつつ他の会員にも認められたということもありました。好きな時に来て、好きなことを、好きなだけできる自由がこのサークルのよい点だと考えています。以前のように自由に活動ができるようになった暁には、SFやゲームに興味がある人、同好の士を探している人には気軽に活動を見に来てほしいです。

取材にご協力いただいた方

農学部植物生命科学科3年 横地 湊大さん
(宮城県立仙台第三高等学校出身)

Introduction to a senior
センパイ 紹介!!
OB-INTERVIEW
インタビュー
第44回



岩手県職員
PROFILE
かまだ のりたけ
鎌田 憲武さん
岩手県花巻市生まれ
平成28年3月人文社会科学部
法学・経済課程 経済コース(当時)卒業
岩手県 商工労働観光部
定住推進・雇用労働室

Q1 在学当時の思い出をお聞かせください。

地域づくりのサークルをつくり、上田商店街の情報紙の制作や、街角から「盛岡さんさ踊り」を盛り上げるプロジェクトにチャレンジしたことです。また、面白そうな他学部の講義や、他県大学の先生による夏期集中講義など、多くの先生の話聞いたことも思い出です。

Q2 在学中はどのようなことを学びましたか。

毎週月曜日のゼミの時間。恩師が関西弁で繰り返す「なんでや?」というセリフを何度も聞きながら、「一度立ち止まって常識を疑うこと」「多様な視点で考えること」の姿勢を学び、それがいまの自分に生きています。また、前述のサークルでの、喜怒哀楽さまざまな経験や、仲間や先生、地域の方々とキャンパスの外で過ごした時間は、とても大きな財産です。新型コロナウイルス感染症により学生生活も大きく変化したと思います。この先行き不透明な状況で、その変化に柔軟に対応した経験や、一緒に乗り越えた仲間は、間違いなく一生の財産になるはずですよ。

Q3 現在のお仕事について教えてください。

岩手県庁に入庁して5年目になります。公務員には定期的に「人事異動」があり、全く異なる分野を担当することも多いのですが、常に新しい発見や学びがあり、その変化を前向きに楽しむことができます。

これまでに、公共交通（三陸鉄道の利用促進など）と、農政（農地に関する法律や中山間振興など）の分野をそれぞれ2年ずつ担当しました。今年度からは、県外からのU・Iターンを推進する「移住」の分野を担当しています。オンラインイベントの企画や、多様なツールを活用した情報発信など、「地方にとってチャンス」と言われる時代に、とてもやりがいのある仕事です。

Q4 後輩となる岩大生へメッセージをお願いします。

大学生活に正解はないと思いますが、大学が岩手にあるからできること、大学生にしかできないことに、真剣に面白くチャレンジすることをおすすめします。卒業後に「県内就職」を目指す皆さん、それぞれの分野で岩手を一緒に盛り上げていきましょう！「県外就職」を目指す皆さん、新しい土地で頑張ってください！そしていつの日か、4年間過ごした岩手への「Uターン」をお持ちしています！



学長メッセージ ~ 御礼 ~
皆様からのご支援に感謝申し上げます。

岩手大学長 小川 智

岩手大学では、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する本学学生を支援するため、一人5万円を200名に支援することとし学内教職員や一般の皆様から岩手大学イーハトーヴ基金（修学支援事業基金）へのご寄附をお願いしました。

その結果、学生の生活を案じる教職員、後輩を想う卒業生並びに保護者の皆様、日頃から本学を応援して下さる地域の皆様、本当にたくさんの皆様から温かいご支援を頂戴いたしました。この場を借りまして心から御礼を申し上げます。

さて、支援実施に向け5月20日から6月3日までの期間で学生からの申請を受け付けましたが、当初の想定を大きく上回る646名の学生から申請がありました。

私は新型コロナウイルスの問題発生当初から、学生たちには困った際には大学に相談するよう繰り返し伝えてきました。大学を頼り支援を求めてきた学生たちの声に何とか応えなければならないという思いから、当初の支援計画を拡充し申請したすべての学生に何らかの支援を行うことを決定しました。具体的には、困窮度合いが高いと判断した約200名に5万円を、それ以外の申請者には半額の2万5千円を支援することとし、6月30日に無事支援を実行することが出来ました。

皆様からたくさんのご支援を頂いたおかげで、可能となった支援です。改めまして皆様からのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも岩手大学をご支援いただきますようお願い申し上げます。

<令和2年度 岩手大学イーハトーヴ基金特定基金 修学支援事業基金>

受入総額（令和2年6月26日現在） 16,197,450円(192件)

支援内容		
支援金額 50,000円	対象者 203名	総額 10,150,000円
支援金額 25,000円	対象者 443名	総額 11,075,000円

※不足分はイーハトーヴ基金一般基金から支出しています。

TOPICS トピックス

「ガンダイニング」今年も放送予定です!

岩手大学を紹介するテレビ番組、「ガンダイニング」を今年も放送いたします。10月から12月にかけて、岩手大学の様々な活動や魅力にスポットを当て、学生生活・研究・地域貢献や東日本大震災からの復興への取組などの情報を、地域の皆様に発信していきます。

放送日：10月6日スタート 毎週火曜日18:55~18:58放送(再放送24:55~24:58)
IBC岩手放送（TBS系列）

岩手県在住の方以外にもご覧いただけるように、後日公式YouTubeに動画を掲載します。

Information

Webオープンキャンパスを開催!

例年8月に実施しているオープンキャンパスですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。そのため、今年度はWebオープンキャンパスを開催することにより、岩手大学の各種情報をご観いただけるようにしました。本学のホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



令和2年度 不來方祭の開催について【学内公開のみ】

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況等を考慮し、不來方祭は規模を縮小して実施します。(学内者限定での開催です。(学外の方はご参加いただけません))
日程：令和2年10月17日(土)、18日(日)
10:00~16:00



新型コロナウイルス感染症への警戒段階別対応方針(BCP)が今後LEVEL2以上になった場合、オンライン形式での実施に切り替えます。

岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学公式Facebook、YouTubeを更新中! Facebookには、学内カンパニー「i-Connect」の学生が取材した記事も掲載しています。ぜひ覗いてみてください。

岩手大学公式Facebook : <https://www.facebook.com/iwate-u>
岩手大学公式YouTubeチャンネル : <https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPKSvGSMYwK1aOA>



高校生・受験生向けサイト公開中!

各学部の情報、入試情報、先輩の声など、高校生の皆様向けの情報をまとめた高校生・受験生向けサイトを公開しています。Webオープンキャンパスと併せて、ぜひご覧ください。



岩手大学イーハトーヴ基金へのご協力について ~今般の新型コロナウイルス感染症に関連して~

岩手大学では、教育研究の充実をもとより、学生に対する修学支援の一層の推進を図るため、平成27年度に「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成され、これまで、企業・団体や個人の皆様など多くの方々からご支援をいただいております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済的に困窮する学生への支援を拡充するため、岩手大学イーハトーヴ基金の特定基金である『修学支援事業基金』へのご寄附にご協力をお願いしております。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ : <https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/index.html>



お問い合わせ先

岩手大学 法人運営部 基金室(平日午前9時~午後5時)
〒020-8550 盛岡市上田3-18-8
TEL : 019-621-6091 FAX : 019-621-6014

Hi! 岩手大学
岩手大学広報誌 **vol.46** AUGUST 2020.8
IWATE UNIVERSITY

編集後記

今までに経験したことのない年になっていますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

岩手大学では、ようやくサークル活動なども始まり、少しずつですが、元気な学生の姿も見られるようになって来ました。1年生の皆さんは、まだ大学に入学したという実感が薄いかも知れませんが、もう少し辛抱して下さい。みんなでこの逆境を乗り越えましょう。まだまだ油断は禁物ですが、コロナウイルスに負けず、共に頑張りましょう!

Hi! こちら岩手大学 vol.46

岩手大学広報誌編集委員会
2020年8月 発行
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
電話 019-621-6015 FAX 019-621-6014
E-mail:kkoho@iwate-u.ac.jp <https://www.iwate-u.ac.jp/>
本誌へのご意見・感想をおまちしております。